

①

1 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

〈命令〉と同じように、頼整にお母さんのくちから発せられるガミガミに〈人格批判〉があります。命令の場合は罪が軽いと前述しました。命令の場合は、命令される側の心構えて、彼はその受身的動機を、能動的動機に切り替えるチャンスが許されていました。感情的に何のしりも残していない親子であれば、子どものほうも、母親のことは嫌なく受け流し、主体性をそれほど侵害されることなく済んだかも知れませんが、命令は感情的対立ではなく、むしろ、命令されることを無意識に待ってしまう〈甘え〉を誘発することが最大の欠陥だったのです。

ところが人格批判には救いありません。「どうしてあなたはそうなの!」という斜弾は、わが子を、完膚なきまで叩きのめす悪意に満ちています。いうまでもなく、お母さんはわが子によかれと信じて叱るのです。加害の意志などミジンも持っていません。そうであれば、〈人格批判〉などしてはいけなかったのです。なぜなら、人格批判はきわめて攻撃的な、剣のように人を傷つけることばだからです。

空腹のためにパンを盗むのは、社会的に見れば犯罪ですが、自分の生命を維持させるためにはむしろ望ましいことでした。その盗んだパンを食べなければ、そのひとは飢えて死んでしまったかも知れません。幼児は、自分自身に忠実に生きようとし、肌えると泣きわめいて食欲を満たそうとします。目の前においそうなパンがあれば、何の罪の意識も持たずその小さな手をのぼすでしょう。しかしおとなは我慢します。罪と罰を知っているからです。つまり、おとなは社会的に洗練されているのです。ときには自分の欲求を、フウサツしてしまわなければならないことを知っているのです。

さて、小学生や中学生は、幼児の心理とおとなの心理の狭間にあります。自己中心のところから社会適応することへと、自分をすくすく変革しているといってもいいでしょう。こんなときの自我は、たとえばもうもく不安定なのです。彼は、自己中心という基点と社会適応という基点に渡した一本のロープの上をよろけながら歩いてくる綱わたりの曲芸師みたいなものです。

彼は強い風が吹くと、その風にあおられて下へ落ちてしまいうるそうです。彼が下へ落ちこないのは、彼は自分を〈たいせつなもの〉だと信じているからです。小学生や中学生には自信などとても持てません。なにしろ非力なですから、何ごとにもビクビクしています。しかし子どもは、自分ほとてもたいせつなものなのだ、と自覚することでもかろうじて成長のイトロープを渡ってこられるのです。

子どもはおとなが想像する以上に大きな誇りを持っています。そのプライドは、能力や腕力に依るものでなく、ただひとつ、〈自分はとてもたいせつ〉だったのです。この誇りは、愛されたいたいせつにされたり、あるいはほめられたりすることによって、はじめて安定がもたらされ、その結果、彼はロープから足を踏み外さずにおとなへの道を歩めたのです。

ところが、人格批判はこの心理的なメカニズムを根こそぎに破壊してしまいます。〈あなたはダメな子ども〉という烙印は、〈自分はたいせつ〉といったひとつのよりどころを、コンテイから揺るがすものでした。人格を批判された結果、〈自分はたいせつじゃない〉と、彼は感じはじめロープから落下する危機感をひしひしと抱くのです。

ここで彼を甘ったれと批判することは容易です。そんなことで傷ついてどうする、と言いつつことも簡単です。しかし、彼は綱わたりの危うい道をヨロヨロと歩いているのです。おとなであれば、その事情をくみとってあげねばなりません。それがおとなの役割というのでしょうか。

2 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

ことばはつねに「この観念を生んだ種族の思想——すなわちものの考えかた、世界と人間のとらえかた——を濃厚にふくんで」います。外来語を用いるのは、ふつうは、その観念を言い表す同義語が母国語にない場合です。（中略）

外国語を母国語の語彙に取り込むということは、「そのカンセンを生んだ種族の思想」を（部分的にはあれ）採り入れることです。そのことばを使うことで、それ以前には知られていなかった、新しい意味が私たちの中に新たに登録されることになります。私の語彙はそれによって少しだけ豊かになり、私たちの世界は少しだけ立体感を増すことになります。

ですから、母国語にある単語が存在するかしないか、ということは、その国語を語る人たちの世界のとらえ方、経験や思考に深く関与してきます。

身近な例を一つ挙げましょう。私たち日本人はすぐに肩が凝ります。

「ああ、肩が凝った」という愁語はふつうは根を詰めて仕事をしたあとや、気詰まりな人間関係をがまんした後には口にされます。

ア、「肩が凝る」という身体的生理的現象は、日本語を使う人の身体にしか生じないという医療人類学上の興味深い研究があります。（小林昌廣「肩凝り考」）

たしかに同じ姿勢で長いあいだ作業をしたりすれば、世界中の人は誰だって背中から首筋にかけての筋肉が、コウチョクして痛みを發します。イ、それを他の国語の人々は必ずしも「肩が凝った」という言い方では表現しないのです。

英語がそうです。

英語にはもちろん「肩」ということばがあり、「凝る」ということばもあります。しかし英語話者は「私はこわばった肩を持つ」という言い方をしません。日本人が「肩が凝る」のとだいたい同じ身体的な痛みを彼らは「背中が痛む」I have a pain on the back. と言うのです。

日本人もアメリカ人も痛むのはそれほど違う箇所ではありません。しかしその痛みの場所を別の単語で表現するのは、痛みの場所が「どこ」かということが、それぞれの国語の中で、重要な意味を持っているからです。

英語では、B 仕事をするを、重荷を背中に背負う carry a burden on one's back と言い、熱心に働くことを「背骨を折る」break one's back と言います。ですから、英語話者は仕事のストレスを「肩」ではなく、back に感じ取っている、ということが分かります。

日本では、誰かが「背中が痛い」と言ったら、「C に行ったら?」と応じますが、「肩が凝った」と言う人に対してはほとんど反射的に、「ごD さまでした」と返します。それは「肩が凝った」というのは単なる身体的な痛みの表現ではない、ということを私たちが了解し合っているからです。「肩が凝った」という訴えが「自分は本来の責任、ハニイを超える仕事をして、疲れたのだから、ねぎらって欲しい」という社会的なメッセージを含んでいることをみんな知っているからです。

ですから、それと同じ状況で、英語話者は自分の労苦へのねぎらいのことばを求めるときには「背中が痛い」と訴えることになります。そして、現にそのときその人の身体ではまがいなく「背中」が激しく痛んでいるのです。（中略）

ウ、私たちの経験は、私たちが使用する言語によって非常に深く規定されています。身体経験のような、世界中誰の身にも同じように起こるはずの物理的・生理的現象でさえ、言語のフレームワーク

②

非行、登校拒否、家庭内暴力は、子どもがロープから落ちてしまった姿です。彼は地べたをトって幼児のレベルにまで戻れるでしょうし、おとなぶってタバコをふかすこともできます。しかし残念ながらその両方とも、成長という細いロープから外れています。彼をロープに戻すにはどうしたらよいでしょう。こうなっているはいくら厳しく叱っても、たとえ警察の力に頼っても何の効果もあらわれません。彼を綱わたりのロープに戻し、残っているロープを社会適応というゴール地点まで歩ませるには、彼に自分自身のたいせつさをさらに強く思い知らせねばなりません。

少年時代のワルが普通のおとなになって当時を回想するとき、彼はかならず自分の価値を認めてくれた恩人の顔を思い浮かべるものです。あの人がいたから立ち直れたと目に涙を浮かべて述懐するあの人は、いったいどんな人だったでしょう。その人は自分のたいせつさを思い知らせてくれた人です。身を案じ、よろこびと悲しみをともにしてくれた人なら、たとえその人がヤクザであろうと、その人は迷える小羊を立派に救えるのです。逆に、どれほどセイレン潔白な人であっても、その人が迷える小羊に自分自身のたいせつさを身を以てわからせてあげられない限り、本当の意味で迷える小羊を救うことはできないのです。

子どもを叱る時、子どもが自分の価値を見失うような叱り方は絶対にタブーです。（山崎房一「子どもを伸ばす魔法のことば」）

問1 下線部 a～e において漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部 A「能動的」とあるが、ここでの同じ意味の言葉は何か。次の①～⑥から全て選び、番号で答えよ。

① 個別的 ② 積極的 ③ 多樣的 ④ 自発的 ⑤ 絶対的 ⑥ 偶発的

問3 下線部 B「自己中心」とあるが、同じ意味の文言を本文中から探し、解答欄の形式に従って「～とすること」に続くよう 12 字で答えよ。

問4 下線部 C「ロープ」とあるが、同じ意味の文言を本文中から探し、6 字で答えよ。

問5 文章全体を通して、筆者は子どもの成長にとって子ども自身がどのように意識することが必要だと考えているか、本文中の言葉を用いて、句読点も含めて 35 字以内で説明せよ。

を通過すると、様相を一変させてしまうのです。

（内田樹「寝ながら学べる構造主義」）

問1 下線部 a～e において、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 下線部 A「新しい意味」とあるが、本文ではどのようなことが「新しい意味」になると述べているか答えよ。

問3 空欄 ア、イ、ウ に当てはまる接続詞の組み合わせが正しいものを次の①～④から選び、番号で答えよ。

① ア…ところが イ…もしも ウ…なぜなら
② ア…のように イ…ところが ウ…しかし
③ ア…ところが イ…しかし ウ…のように
④ ア…しかし イ…なぜなら ウ…ところが

問4 空欄 B に入る語句を本文中から 5 字で抜き出し、答えよ。

問5 空欄 C・D に入る語句をそれぞれ漢字 2 字で答えよ。

③

④

5

3 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

ペットとして人気が高いイヌ。ペットフード協会の「スイケイ」では、国内では全世帯の約1割に当たる564万世帯で705万匹が飼われている。人にしっぽを振ったり、じゃれたりする愛くるしいイヌのふるまいには、どんな物質や遺伝子が関わっているのか。

イヌが流す涙は感情に基づいている——、そんな研究成果を、永澤美保・麻布大准教授（動物行動学）らのチームが2022年8月に米科学誌に発表した。

涙を流す動物は多い。だがそれは必ずしも感情が原因とは限らない。涙には、目のほこりを取り除いたり、乾燥を防いだりする「ア」な役割があるためだ。

チームはこんな実験をした。まず約20匹の飼い犬について、飼い主と一緒にいる時と、5～7時間離れた後に飼い主と再会した時の涙の量を比べた。すると、再会時の方が涙が増えた。

そのイヌを知っている一時間前か所スタッフが代わりに行くと、飼い主との再会時ほどには涙の量は増えなかった。

ただ、「イヌがこのときどんな感情を持っているかは直接は分からない。耳や尾の動き、行動を見極めて「快」か「不快」に分類すると、飼い主との再会時の感情の大きな動きは「快」だとみられる。

では、涙に何らかの物質が関与しているのだろうか。チームはそれを調べるため、家族や仲間への愛情や母性に関わるホルモン「オキシトシン」に着目した。子宮を収縮させて出産を促すホルモンで、ストレスの「コルチゾール」や信頼感の増幅などの作用があり「愛情ホルモン」とも呼ばれる。マウスには涙腺にオキシトシンと結合する受容体があることも報告されている。

オキシトシンの溶液と、オキシトシンと同じ分子量の別の物質の溶液をそれぞれイヌに点眼して涙の量を比べると、オキシトシンの方が涙が増えた。イヌは飼い主との再会で「快」の感情を抱き、オキシトシンを分泌して涙を流すことを「示唆」する結果だ。

イヌが人と仲良くすることは、自らの子孫を残すために有利に働き、オキシトシンはそのカギになる物質だった——永澤さんはそうみている。「母から子、自分から仲間へ愛情をかける時だけに分泌されると思われがちだが、もっと根源的な、個体の生存にかかわるホルモンです」と話す。

イヌの祖先はオオカミで、1万5000～3万数千年前に最初に家畜化された動物であることが、近年の研究で明らかになっている。しかし家畜化に「トモナ」い、どのような遺伝子の変異があったのか、詳しくはわかっていない。

オオカミとイヌの違いの一つが、困難に遭った際に人を頼るということだ。チームは、オオカミに遺伝的に近い「古代種」（秋田犬、シベリアンハスキーなど）、その他の犬種の行動と遺伝子を比べ、22年6月に英科学誌に発表した。

古代種とその他の犬種計約600匹に、中にエサを入れて蓋をした透明のプラスチック容器を見せ、2分間観察した。蓋はイヌでは開けられないようになっている。

すると、古代種は三十数秒しないと飼い主を振り向かないケースが多かったが、その他の犬種の多くは十数秒で振り向いた。

振り向く回数も、古代種の多くが5回以下、その他の犬種は多くが5回以上と差があった。

先行研究では、オオカミはまったく人を振り向かず、容器を爪で開けようとするだけだった。オオカミから遺伝的に離れるほど、イヌは「イ」ことがわかる。

次に、イヌの血液から遺伝子を解析すると、古代種とその他の犬種で、コルチゾール産出に関わる遺伝子のタイプが異なっていた。

4 次の(1)～(10)までの各設問にそれぞれ①～④の番号で答えよ。

- (1) 夏目漱石の作品として誤っているものは である。
① ころこ ② 田舎教師 ③ それから ④ 吾輩は猫である
- (2) 大政奉還をおこなった徳川第十五代将軍は である。
① 徳川家康 ② 徳川家光 ③ 徳川吉宗 ④ 徳川慶喜
- (3) 日本の歴史上の出来事と関連深い人物名の組み合わせで誤っているものは である。
① 壬申の乱—大海人皇子 ② 平治の乱—平清盛
③ 応仁の乱—細川勝元 ④ 二・二六事件—大養毅
- (4) リトマス試験紙の赤色の部分をアルカリ性の液につけると 色になる。
① 黒 ② 緑 ③ 青 ④ 黄
- (5) 酸化物から酸素を取り除く化学変化を という。
① 還元 ② 酸化 ③ 化合 ④ 中和
- (6) 彫刻「考える人」の作者は である。
① ミケランジェロ ② ベルニーニ ③ ロダン ④ ジャコモッティ
- (7) 環境に配慮した生活が求められる中、 unnecessary のものを買わないなど、ごみの削減を という。
① Reduce ② Recycle ③ Reuse ④ Returnable
- (8) 日本の国会の権能でないものは である。
① 法律案の議決 ② 予算の議決 ③ 最高裁判所長官の指名 ④ 弾劾裁判
- (9) 四字熟語の意味として間違っているものは である。
① 空前絶後…誰にも負けないほど強いこと。
② 枝葉末節…重要でない事柄や、どうでもいい、大事でないこと。
③ 有名無実…評判と実際が違うこと。
④ 深謀遠慮…遠い将来のことまで考えて周到にはかりごとを立てること。
- (10) 拘泥の類義語・同義語は である。
① 堅固 ② 固執 ③ 拘束 ④ 泥縄

7

6

コルチゾールは、何らかの刺激で放出され、ストレス反応を引き起こすホルモンだ。永澤さんによると、この「多寡」が家畜化に影響している可能性がある。例えば、人がいてもストレスを感じにくいイヌが選別され、家畜化・品種改良されてきた、人を頼る愛くるしいイヌが選ばれ、生き抜いてきた——などが考えられるという。

永澤さんは、遺伝子のタイプの違いが実際にコルチゾールの分泌量に影響しているのかを検証するため、イヌの尿の中のコルチゾール量も調べている。

永澤さんは「私たちホモ・サピエンスが残ったのは、イヌというパートナーの存在が大きかったのでは。種が違う人間とイヌが、なぜここまでうまく共生できたのかを解明していきたい」と話す。

（毎日新聞 2023/02/16）

問1 下線部 **a** ～ **e** において、漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直せ。

問2 空欄 **ア** に入る適切な言葉を次の①～④から選び、番号で答えよ。
① 物理的 ② 理性的 ③ 生理的 ④ 化学的

問3 下線部 **A** 「イヌがこのときどんな感情を持っているかは直接は分からない」とあるが、その理由を説明せよ。

問4 下線部 **B** 「オキシトシン」とあるが、それが
① これまで一般的にはどのようなものであると考えられていたか
② それに対して永澤さんはどのようなものだと考えているかをそれぞれ説明せよ。

問5 空欄 **イ** に入る語句を本文中から4字で抜き出し、答えよ。

5 次の(1)、(2)の問題に答えよ。

- (1) 底面の直径6cm、高さ8cmの円錐の体積を求めよ（円周率は π とする）。
- (2) $(x^2+x+3)(x^2+x+5)-8$ を因数分解せよ。

8

ライフスタイル学科・こどもの生活学科

基礎学力テスト

1 問1 a ひんばん b かんぷ c 封殺 d 根底 e 清廉

問2 ② ④

問3 自 分 自 身 に 忠 実 に 生 き よ う と す る こ と

問4 お と な へ の 道

問5 子 ども 自 身 が 、 自 分 は と て も た い せ つ な も の な の だ と 自
覚 (意 識) す る こ と 。

2 問1 a 観念 b ごい c しゅうそ d 硬直 e 範囲

問2 【解答例】日本語で「肩が凝った」と言う場合に、英語では「背中が痛む」と表現すること。

問3 ③ 問4 根 を 詰 め て 問5 B 病院 C 苦勞

3 問1 a 推計 b 緩和 c しさ d 伴 い e たか

問2 ③

問3 【解答例】犬は自分の感情を言葉で伝えることができず、私たちはその行動からしか感情を推し量ることができないため。

問4 ①これまでの一般的な考え
母から子、自分から仲間へ愛情をかける時だけに分泌されるホルモン

②永澤さんの考え
個体の生存にかかわるホルモン

問5 人 を 頼 る

4 (1) ② (2) ④ (3) ④ (4) ③ (5) ①

(6) ③ (7) ① (8) ③ (9) ① (10) ②

5 (1) $24\pi\text{cm}^2$

(2) $(x^2+x+1)(x^2+x+7)$